

# 大阪労働局:『外国人雇用状況』の届出状況 (令和6年10月末)を公表

25.01.31

～外国人労働者雇用事業所、外国人労働者ともに昨年より増加～

【届出状況の概要】○外国人労働者を雇用する事業所数は28,167 か所で、前年同期比 10.7%の増加 ○外国人労働者数は174,699 人で、前年同期比 19.3%の増加 ○国籍別では、ベトナムが最も多く60,871 人(外国人労働者全体の34.8%)、次いで中国(香港、マカオを含む)32,640 人(同18.7%)、ネパール17,085 人(同9.8%)の順 ○在留資格別では、「専門的・技術的分野の在留資格」が62,468 人で外国人労働者全体の35.8%を占め、次いで「資格外活動」が46,991 人で全体の26.9%となっている。



# 大阪府：令和7年度『外国人材受入加速化支援事業』 最優秀提案事業者を選定

25.04.07

府は、民間ノウハウを活かし外国人材の受入れを加速する

委託事業の受託者選定結果を公表。

最優秀は『アクセス×JTB 共同企業体』、  
総合評価点は74.1点、提案金額は7,662万6千円。

企業向けマッチングや定着支援などを包括実施し、府内中小企業の人材確保を後押しする。今後の契約交渉を経て事業を開始し、イベント・相談対応等の展開が予定される。



大阪府

令和7年度外国人材受入加速化支援事業／大...

[https://www.pref.osaka.lg.jp/hodo/fumin/o110010/prs\\_51023.html](https://www.pref.osaka.lg.jp/hodo/fumin/o110010/prs_51023.html)

# 大阪公立大学：国際交流基金 関西国際センター と連携協定

25.04.17

大阪公立大学と独立行政法人国際交流基金 関西国際センターは、国際文化交流の推進ならびに国際的に活躍できる人材の育成を目的とし、連携協定を締結しました。

関西国際センターは、外務省所管の独立行政法人国際交流基金が1997年に大阪府泉南郡田尻町に設立した施設であり、仕事で日本語を必要とする方や海外で日本語を学ぶ方々を対象に、訪日研修や日本語e-learningの開発を行っています。また、海外からの研修生と地域住民との交流を通じ、地域における国際交流の推進にも取り組んでいます。



 在大阪カンボジア王国名誉領事館  
当館スタッフが国際交流基金関西...

<https://www.omu.ac.jp/info/news/entry-17420.html>

# barca: 特定技能 2号移行支援『ZENSHIN』提供を開始

25.04.24

大阪発の人材支援企業barcaが、  
特定技能2号の試験対策と日本語教育を一体提供。初  
期対象は造船・建設分野で、オンライン支援を併用。テ  
スト運用では高い合格率を示し有効性を訴求。  
現地送出国との連携や相談対応も含め、  
企業の移行支援・定着支援を強化する。  
受講申込や無料セミナーの案内も掲載され、  
人材のスキル高度化とキャリア継続を後押し。



PR TIMES

特定技能 2号の取得をサポートする新サービス「ZENSH...

<https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000001.000157550.html>

# 大阪大学 米国の留学生・研究者の受入れ支援を表明

25.05.28

**米国大学留学生・研究者の学修・研究の継続  
を支援します — 医学系研究科では 6億円以上  
の自己財源により 100名程度の研究員受入れ  
体制を構築 —**

大阪大学は、アメリカ政府による留学生受入れ停止措置等の急速な政策変更等により、アメリカの大学における学修あるいは研究活動の継続が難しくなった留学生・研究者を一時的に受け入れ、学修・研究が継続できる場を提供する方針 で、支援内容の具体化を進めています。

具体的な支援内容としては、困難に直面する米国大学関係者及び留学生・研究者のご意見を伺い、また米国政府等の動きも注視しながら、現在のところ未決定ですが、大阪大学全体として以下の内容を可能な範囲で実施できるよう、検討しております。



 Yahoo!ニュース - Yahoo! JAPAN

「医学系で国籍問わず最大100人程...

<https://www.osaka-u.ac.jp/ja/news/topics/2025/05/28002>

# 大阪産業局:

## 『第4回 外国人材情報大交流会 in OSAKA』を開催告知

25.06.04

在留資格や受入れ準備、定着のコツまで、  
実務情報を網羅する大規模交流イベントを告知。  
官民学あわせて50以上の支援ブースが出展予定で、  
セミナーや相談会を通じ疑問を直接解決できる。  
採用を検討中の企業から取組中企業までを対象に、  
最新制度や成功事例を共有する狙い。  
会場・日時・申込方法は案内に明記され、  
府内中小企業の採用力強化を支える。



大阪産業創造館

第4回 中小企業の経営者・人事担当者のた...

<https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000145.000104413.html>

# JITCO大阪:地域情報交換会 (7/4・マイドームおおさか)を告知

25.06.10

技能実習・特定技能の関係者向けに、  
大阪駐在事務所主催の情報交換会の開催を告知。  
定員100名、申込締切は6/27、参加費は無料。  
最新の人材変化や新たな送出国への対応をテーマに、  
制度動向と現場の課題を共有する。  
会場は『マイドームおおさか』、詳細はWebに掲載。  
近畿2府4県の賛助会員先行受付にも言及し、  
地域ネットワークの強化を目指す催しだ。



**J** JITCO

おかげさまで大盛況のうちに終了しました】 ...

<https://www.jitco.or.jp/ja/news/article/39659/>

# 大阪公立大学： ERAU学生21名が来学 『Japan Program 2025』を実施

25.06.30

2025年5月から6月中旬にかけて、アメリカのエンブリー・リドル航空大学 (Embry-Riddle Aeronautical University、以下ERAU) の学生21名が来学し、国際的な視野の拡大と交流促進を目的とした、「Japan Program 2025」を実施しました。本プログラムは、本学とERAUとの学術交流の一環として開催される国際交流プログラムで、今年で6回目を迎えます。

ERAUの学生は、航空宇宙や日本文化、合気道に関する授業を受講。授業では、両大学の学生による学生生活プレゼンテーション、教員も加えたミニカンファレンスでの研究発表により、交流を深め、知見を広げました。

また、講義以外にも小型宇宙機システム研究センター (SSSRC) の学生との交流や、柔道部学生との柔道体験、OMU Global Members (OGM) 企画の書道体験、大学祭での模擬店の出店など、さまざまな日本の文化を体験する充実した内容となりました。

本学学生の有志約48名による「バディ」もイベントを企画し、各活動に参加。ERAUの学生をサポートすることを通し、積極的に異文化を学び国際的な視野を広げる貴重な機会となりました。



柔道部との柔道体験



OGM企画による書道体験



学生生活プレゼンテーション



Farewell Partyでの集合写真

<https://www.omu.ac.jp/info/news/entry-18371.html>

# 外国人労働者の不法就労、不法滞在ストップ 技能実習生らがチラシ配布

2025.07.02

外国人労働者による不法就労や不法滞在防止を訴えるため、大阪府警泉南署は、阪南市の商業施設で外国人技能実習生ら約20人とともに「ストップ不法就労・不法滞在」と記された啓発チラシなどを配布するキャンペーンを実施した。キャンペーンには、インドネシアとベトナムから来日した実習生15人が参加。署員らとともに買い物客にチラシを手渡し、実習生を雇用する際には、「就労可能な在留資格の有無を確認して」と協力を求めた。

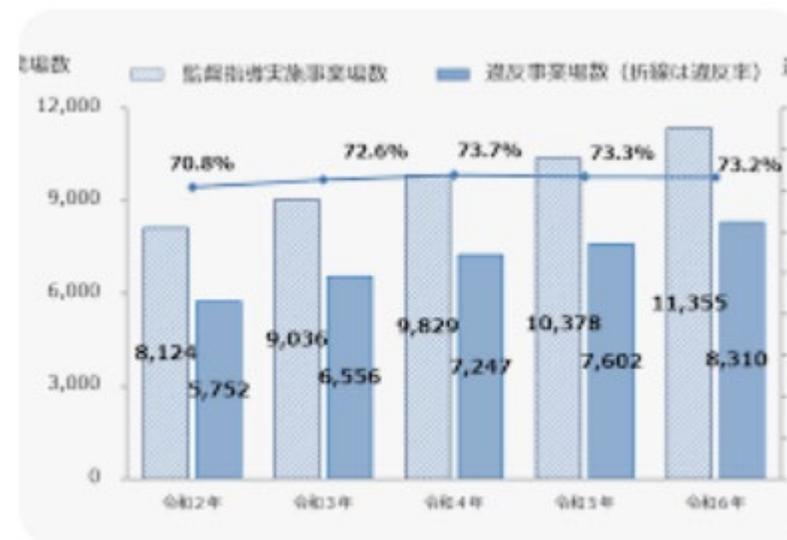


「ストップ不法就労・不法滞在」などと書かれたチラシを配る外国人技能実習生ら＝大阪府阪南市（土屋宏剛撮影）

# 違反率は技能実習生関係が73.2% 外国人を使用する事業場の現状を調査

2025.12.26

厚生労働省は、2024年に全国の労働基準監督署等が実施した外国人技能実習生または特定技能外国人を使用する事業場に対する監督指導（立入調査）や送検等の状況について取りまとめ、公表しました。技能実習生関係は監督指導を実施した1万1355事業場のうち8310事業場（73.2%）、特定技能外国人関係は監督指導を実施した5750事業場のうち4395事業場（76.4%）で、労働基準関係法令違反が認められています。



労務ドットコム

技能実習生に関連した労働基準関係...

# JR西、特定技能者の雇用拡大へ 夢洲延伸 「IR開業に間に合わず」

2025.09.18

JR西日本の倉坂昇治社長は、人手不足対策の一つとして、特定技能制度を活用する考えを示した。鉄道路線の電気・通信設備の保守・修繕を行うグループ会社で、特定技能の労働者の雇用を順次、増やす。2026年度から電気設備の分野で「外国の方に力を発揮してもらう準備をしている」という。朝日新聞の取材に答えた。コロナ禍で21年に約25万人にまで落ち込んだ海外から日本への旅行者数は、24年に3687万人と過去最高を更新した。政府は30年に6千万人に増やす目標を掲げる。



JR西日本の倉坂昇治社長=2025年9月8日、大阪市北区、瀬戸口和秀撮影 

# 指導怠った監理団体に改善命令 厚労省・法務省

2025.10.28

厚生労働省と法務省は、外国人技能実習の実施企業に適切な指導を行わなかったなどとして、監理団体のオープンケア協同組合（大阪府大阪市）と広島ものづくりけ協同組合（広島県東広島市）に対し、技能実習法に基づく改善命令を出した。処分はいずれも10月15日付。オープンケア協同組合は、傘下の実習実施企業が技能実習法令に違反する行為を行っていた疑いを把握していたにもかかわらず、直ちに監査を実施しなかった。さらに、複数の企業に対して監査と訪問指導を行わなかったうえ、技能実習生からの相談にも適切に応じていなかった。



# 大阪国際研修センターにて技能実習生の講習を実施

2025.07.22

6月25日、ベトナムから3名の技能実習生が関西空港に到着しました。

その日のうちに、入国後講習を行う大阪国際研修センター様に移動し、翌26日から講習が始まりました。研修センター併設の寮で寝泊まりし、7月末に実習団体での勤務まで、日本語、介護の講習を行います。当組合は通常、北海道函館市において入国後講習を実施していますが、少数の場合はここ大阪国際研修センター様に協力を依頼し、実施します。こちらは関東でも入国後講習を行っています。実習生が日本の生活に早く適応し、介護に必要な知識と技術を習得して現場で活躍できるよう、今後も継続して支援してまいります。



# インド人材セミナー（北東部）が 開催されます

2025.10.10

大阪府商工労働部の主催で、インド人材セミナー～北東インドの可能性を探る～が開催されます。JITCOは同セミナーを共催します。

インド北東部は、中国やミャンマー等と国境を接しており、東・東南アジアに近い文化を持つ多様な民族が共存する地域です。この地域に住む人々の文化や生活習慣は、日本にも比較的馴染みやすいとされており、JITCOにも多くのお問い合わせをいただいております。

本セミナーではJITCOがインド人材の概況全般について、認定送出機関ARMSが北東部インド人材の送出し、受入れの状況について講演します。

# 元技能実習生は工場長に昇進、 積極採用で事業拡大

2025.07.31

金属加工や樹脂成形などを手掛ける三栄金属製作所（大阪市、以下、三栄金属）が事業拡大を実現できた背景には、外国人材の積極的な活用がある同社の創業は1970年。2014年に化粧品ボトルのキャップを製造する工場を、2018年には車両用ちょうつがいの工場を開設。2020年に入ってから、シャフトから歯車に回転を伝えるマシンキー製造の橋本工機（大阪市）も買収による完全子会社としてグループに加わった。2022年には大阪だけでなく京都のプレス加工工場も傘下に加えた。



図1 三栄金属製作所工場内の様子

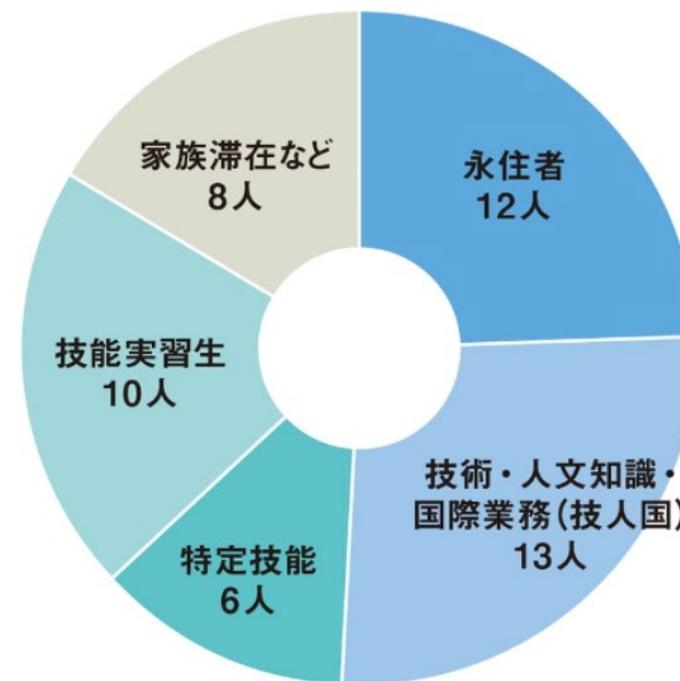
三栄金属製作所はシンクの排水トラップや風呂の水栓など、家庭向け水回り製品のOEM（相手先ブランドによる生産）を主に手掛けている。（写真：日経ものづくり）

# 育成費に100万円、元技能実習生は 工場長に昇進 三栄金属製作所

2025.07.01

「うちの会社を買って欲しくないか」――。大阪市生野区で金属加工を手掛ける三栄金属製作所には、こんな相談が多く寄せられている。生野区は金属加工をはじめ、古くから町工場が集積する地域だ。だが近年は少子高齢化を背景に若い担い手がいないため、人手不足で仕事を処理し切れず工場を手放す経営者が多いという。三栄金属製作所の創業は1970年。元々は、シンクの排水トラップや風呂の水栓など、家庭向け水回り製品のOEM（相手先ブランドによる生産）を主に手掛けてきた。金型設計をした後、プレス機で成形し、研磨して組み立てる。

49人のベトナム人社員が勤務している



(注)2025年6月時点

# 【12月14日（日）】公開講演会「外国人労働者受け入れ制度転換期における日本語教育の課題と展望 —ベトナム出身の技能実習生に対する調査から—」を開催します

2025.11.14

ベトナムに関する多角的な研究を行っています。本講演会は、その第2回目のイベントです。今回は「外国人労働者受け入れ制度転換期における日本語教育の課題と展望 —ベトナム出身の技能実習生に対する調査から—」をテーマに、立命館大学理工学部の道上史絵准教授が、これまで日本の外国人労働者受け入れ制度の中核を担ってきた技能実習制度に焦点をあて、ベトナム出身の技能実習生の日本における言語生活と日本語学習の実態、現地送り出し機関における教育の様子を報告します。外国人労働者を取り巻く日本語教育と日本社会のあり方について、参加者と共に考える場となる講演です。



「ベトナム探究によるこそ」講座主催  
大阪大学大学院人文学研究科外国語専攻・外国語学部後援

## 公開講演会

外国人労働者受け入れ制度転換期における  
日本語教育の課題と展望  
—ベトナム出身の技能実習生に対する調査から—

日本の外国人労働者受け入れ制度は大きな転換点を迎えています。本講演では、著書『技能実習生と日本語のリアル』をもとに、ベトナム出身の技能実習生等の日本語学習や言語生活の実態、送り出し機関での教育の様子を報告します。そして、今後の日本語教育と日本社会のあり方について、皆さんと意見を交わしたいと思います。

**12.14.** 2025年  
開催時間 10:00-12:00

講演会参加者の皆さまには、  
『技能実習生と日本語のリアル』を  
特別割引価格にてご注文いただけます

立命館大学理工学部 准教授  
道上史絵

# 近大生と附属和歌山高校生が外国人技能実習生と育む共生の輪 外国人技能実習制度をテーマにした国際交流プロジェクトを実施

2025.11.04

近畿大学国際学部（大阪府東大阪市）国際学科教授 桑名恵ゼミは、外国人技能実習・特定技能制度に基づき外国人を受け入れる企業の支援・監理を行う国際ビジネス情報協同組合（和歌山県和歌山市）と連携し、令和7年（2025年）11月10日（月）に同協同組合本部において、外国人技能実習制度をテーマにした交流会「国際交流プロジェクト～外国人技能実習生・高校生・大学生が作る夢の教室～」を実施します。また、本交流会には近畿大学附属和歌山高等学校の生徒も参加します。



令和6年（2024年）に桑名ゼミが行った国際交流プロジェクトの様子

出典：<https://newscast.jp/news/3272851>

# 小学校の跡地で多国籍夜市 まちづくり企業が仕掛ける“胃文化交流”

2025.11.07

閉校した大阪市生野区の小学校跡で、3年前から「いくの万国夜市」が開かれている。約80カ国の人々が暮らす生野を象徴するように、多国籍な料理の屋台が集まる。ベトナム料理の屋台で客を呼び込むホアン・バン・ホアさん（40）は初めての出店。11年前に技能実習生として来日し、結婚後は区内で3人の子を育てる。12月に近くで本物の店舗を始める予定で、「生野の人たちはとても優しく、これまでたくさん助けてもらいました」と言う。会場では、夜市に先立って区が開いた交流イベントで市民約50人にフォーをふるまい、舞台上でベトナム語の歌を熱唱した。



フォーやバインミーを売る屋台で客を呼び込むホアン・バン・ホアさん（中央）=2025年10月11日午後4時50分、大阪市生野区、玉置太郎撮影

# 「大阪だけ合格率突出」 日本語試験で横行か

## 実習生の替え玉受験、

2025.07.10

ベトナム人技能実習生による「替え玉」受験が問題化し、大阪府警がこれまでに依頼者や実行者ら少なくとも5人を入管難民法違反などの疑いで逮捕した。技能実習生がより好条件で働いたり日本に長く滞在したりするには、在留資格の変更が必要だ。その際に日本語試験での合格が条件になる場合がある。日本語の不自由な実習生が、日本に長く滞在しているベトナム人らに代理受験を依頼しているとみられる。仲介役の存在も確認され、府警は在日ベトナム人社会で不正な手口が横行しているとみている。



観光客が多く行き交う大阪・ミナミ。女性は公判で「待ち合わせした橋でベトナム人男性に在留カードを渡した」と話した＝大阪市中区で2025年6月27日午後5時44分、川地隆史撮影

# 日本語テストなどのニセ合格証で「特定技能」取得か...技能 実習生のベトナム人男女を逮捕

2025.10.23

日本語試験などの虚偽の合格証を入管に提出し、外国人労働者の在留資格「特定技能」を不正に取得したとして、大阪府警がいずれも群馬県内に住むベトナム国籍で30歳代の男女2人を入管難民法違反（虚偽申請）容疑で逮捕していたことが捜査関係者への取材でわかった。2人は技能実習生だったといい、府警はより多くの収入を得やすい特定技能の資格を得る狙いだ

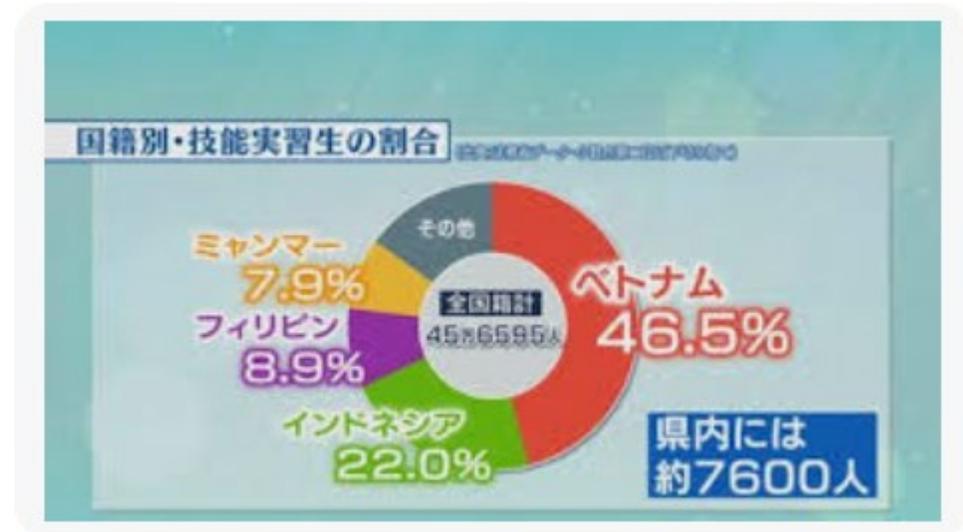


大阪府警察本部

# 技能実習生のベトナム人不法就労事件 給料安く実習先から逃走 ゴミ収集会社代表の男ら2人書類送検

2025.11.17

大阪府八尾市のゴミ収集会社で、技能実習生のベトナム人らが不法就労していた事件で、警察はベトナム人を違法に働かせたとして、会社代表の男ら2人を書類送検しました。書類送検されたのは、八尾市にあるゴミ収集会社の代表の男と従業員の男で、今年5月、技能実習生として来日していたベトナム人2人を違法に働かせた疑いがもたれています。技能実習生は実習先でしか働けませんが、警察によりますと、この会社では給料が安いなどの理由で実習先から逃走したベトナム人を1日1万円ほどで働かせていたということです。この会社は、知人が経営する人材派遣会社に依頼してベトナム人らを受け入れていて、任意の調べに対し「在留カードなどの確認はしていなかった」と話しているということです。



出典 : [https://www.ngj.jp/press\\_detail.php?article\\_id=3413](https://www.ngj.jp/press_detail.php?article_id=3413)

# もう自信が持てない」就労中の事故で右手切断した元技能実習生 「会社から辞めてと言われた」ベトナム人技能実習生の「25人に1人」が 不当な扱いなど受け失踪...不法滞在・不法就労に

2025.09.02

職場での訓練を通じて外国人に技能を習得してもらう「外国人技能実習制度」。厚生労働省によりますと、開発途上国の経済発展を支える人材を育てる目的があるとされています。しかし、技能実習生が実習先で不当な扱いなどを受けて失踪し、**不法滞在・不法就労**となってしまうケースも。現場で何が起きているのか、技能実習生の実情取材しました。



出典：<https://news.livedoor.com/article/detail/29488866/>

# 「多文化共生が持続可能な日本につながる」 外国人多く雇用の経営者

2025.08.29

山形県村山地域の自治体職員が、人口減少の中で持続可能な社会のあり方について学ぶセミナーが28日、山形市であった。同市のスズキハイテック社長、鈴木一徳さんが講演し、「日本人と外国人が共に支え合う多文化共生社会を築くことが持続可能な日本の未来につながる」と語った。メッキ加工会社の同社は、社員の4割にあたる113人が外国人。様々な在留資格で来日し、会社の急成長に貢献している。



多文化共生社会について講演するスズキハイテックの鈴木一徳社長=2025年8月28日、山形市、斎藤徹撮影 

出典：<https://www.asahi.com/articles/AST8X4R8VT8XUZHB007M.html>